

農業担い手カップルを激励

訓子府町農業担い手対策推進協議会（細川孝雄会長）主催の「農業担い手カップル激励会」が昨年11月29日に町内で開かれ、懇親を深めました。

激励会は、同じ年に結婚した農業後継者カップルが集い、交流を深めることを目的に、毎年開かれています。

今回は新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの開催となり、令和3年度、4年度中に結婚した6組のうち2組が出席。懇親会で各夫婦は、それぞれ自己紹介、「夫婦で支え合って、一緒にがんばっていきたい」などと抱負を述べ、終始和やかな雰囲気の中で、交流を深めました。



訓子府町4Hクラブ最優秀賞受賞

綿製の下着で土壌分析の実験

令和4年度オホーツク総合振興局管内青年農業者大会が昨年12月13日、北見市で開かれ、管内の20～30代の若手農業者グループが日ごろの農業の取り組みや研究成果を発表しました。

4団体が出場したプロジェクト発表で、訓子府町4Hクラブは昨年より取り組んでいる、綿製の下着のパンツをほ場に埋めて3か月後に掘り出し、下着の溶け具合と土壌の有機物との関係について考えるユニークな実験の結果について発表し、最優秀賞を受賞、令和5年1月に開かれる全道大会に出場します。

12月16日には、発表を行った細川琢未さんら会員3人が役場を訪れ、菊池町長に「今後も実験を継続して、土壌分析に取り組んでいく」と抱負を話していました。



訓中2年生対象に見学説明会

訓高訪問



訓子府中学校2年生32人を対象に昨年12月12日、訓子府高校で「見学説明会」が開かれました。

高校進学を考えるに当たり、自分の進路実現に向け、実際の高等学校を訪問して校舎や施設、高校の先生からの説明や授業の様子などを見学することで、高等学校についての理解を深めるとともに、訓子府高校の教育活動への理解を深めることを目的としています。

生徒たちは訓子府高校の金森校長から進路選択についての説明を受けた後、情報処理や現代文、英語の授業を見学しながら、訓子府高校で取り組んでいるさまざまな教育活動について理解を深め、高校生活をイメージすることができた様子が伺えました。

クリスマス会



ひだまりとわくわく園で昨年12月21日に、それぞれクリスマス会が開かれました。

ひだまりでは町内在住の木村香鈴さんと北見市在住の村木美保子さんによる、うたとピアノによる音楽物語が披露され、子どもたちは手作りのマラカスを振りながらクリスマスソングなどを楽しんでいました。

わくわく園では保育教諭による、ブラックパネルシアターが披露された後、サンタクロースが登場して一人一人にプレゼントが手渡され、園児たちは大喜びでした。

くねっぷの未来づくり大会

地域の人たちがつながり、支え合う地域づくりについて考えることを目的として、昨年12月16日に公民館40周年記念事業の「くねっぷの未来づくり大会」が開かれ、34人が参加しました。

前半は一般社団法人とちぎ市民協働会の廣瀬隆人氏による講演が行われ、後半は、参加者が5グループに分かれ、「活動をしていて楽しいこと・うれしいこと」「公民館へのメッセージ」のテーマで、地域づくりの課題や公民館活動の活性化に必要なことなど、意見交換を行いました。



今月の一枚

町の素敵な瞬間を紹介しています。今月は「わくわく園もちつき体験デイ」です。

町ホームページでも写真や動画で行事などを掲載していますので、ぜひご覧ください。

